



高島幼稚園だより

令和 7 年 7 月号

板橋区立高島幼稚園

板橋区高島平 2-18-1

TEL 03-3934-5848

園長 井上 朋子

保幼小接続・小中一貫教育「高島なかよし通り学びのエリア」
(高島幼稚園・高島第二小学校・高島第二中学校)

高島幼稚園
ホームページ



50 周年
キャラクター
「たんたん」



様々な遊びを通して、学んでいる子どもたち

園長 井上 朋子

ムシムシと暑い日が続いている中でも、子どもたちが元気に遊んでいたりと、子どもたちの笑顔がはじける姿が見られたりすると、ホッと嬉しい気持ちになります。WBGTの値や現在の気象情報が気になる毎日です。

先日のこと、子どもたちが砂場で水のシャワーを浴びながら声をあげて喜んでいました。大きな穴に水をためたところに、バシャンと入ったり、ザブザブと歩いたりして体が熱くなってくると、先生が持つシャワーの雨が上から降ってきます。暑い日だったので、水を浴びて気持ちよさそうです。実は、慣れてきた砂場でプールのように遊ぶことで、水がかかっても大丈夫になるように遊んでいるのです。子どもたちは、そんなこととは知らず思いっきり楽しんでいます。新しいことがなるべく少なくなるように、意図的に遊びの中に、次の活動の要素を入れることで、子どもたちの成功体験へとつなげています。その後のプール遊びは、みんなで楽しむことができました。



園庭の砂場では、山や川を作ったところに水を流して遊んでいる子どもたちの姿がありました。樋（とい）や塩ビ管など、様々な道具があるため自分たちが必要と思う物を並べて遊んでいます。樋の使い方は様々ですが高低差があると水が流れることが分かったり、まっすぐ横に置くと水がたまっている様子が見えたりします。様々なことを目にしながら遊びを展開している子どもたちです。言葉では理解していなくても、目で見たことや楽しいと思って遊んだことが体験として残り、次の学びへとつながっていくのです。

園庭では、自分たちが植えた夏野菜を育てています。急に暑くなり、実が大きくなり始めました。見つけたキュウリを見ながら子どもたち同士で笑っています。子どもたちの言葉に耳を傾けると、「これは、なすキュウリ」と言っています。色はキュウリの色なのに、どうしてそうのことを考えたのか不思議に思っていると、「だってね、ここが大きくなっているから、なすキュウリ」と、言っています。よく見ると、キュウリの下部分が少ないくらんでいます。「これは、曲がっているからバナナきゅうり」、「これは、小さいから、とうがらしキュウリかな」と言って楽しんでいます。形に注目して見ている姿でした。いろいろな見方がある中で形を見るという選択肢を自分の中で決めて、一つの視点から物を見るということを思いついた姿でした。



多くの気づきや発見を子どもたちが自ら行うことで、様々な遊びが展開していきます。子どもたちの何気ない遊びは、大切な学びとなっているのです。その環境を用意するのは、先生方です。毎日、試行錯誤をしながら、よりよい環境へと変化させています。今後も、未来を創っていく子どもたちを大切に育てていながら、成長を見守っていきます。